

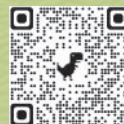
第37回
通常総会議案書

2026年7月7日(火)



パルシステム協力会

パルシステム
協力会の
HPはこちら▶



● も く じ

第1号議案	2025年度(第36期)活動報告承認の件	2	
	2025年度協力会主要活動報告	5	
第2号議案	2025年度(第36期)決算報告、 ならびに監査報告承認の件	9	
	監査報告書	10	
第3号議案	2026年度(第37期)活動方針(案)承認の件	13	
第4号議案	2026年度(第37期)予算(案)承認の件	15	
第5号議案	幹事辞任にともなう役員減員承認の件	17	
第36期部会活動報告			
	2025年度 主要活動日誌	19	
	商品展示・組合員交流部会(商品展示会実行委員会) 活動報告	20	
	物流部会 活動報告	25	
	品質管理部会 活動報告	30	
	環境部会 活動報告	35	
	異業種交流部会 活動報告	40	
パルシステム協力会 会員名簿			45
■正会員			
■準会員			
■特別会員			
	2025年度 パルシステム商品学習会・工場見学開催実績	49	
<資料>			
	パルシステム協力会会則	53	
	パルシステム協力会公式サイト	58	

第 1 号議案

2025年度(第36期)活動報告承認の件

I．はじめに

2025年は、日本を含む世界各地で記録的な熱波や洪水、干ばつなどの異常気象が相次ぎました。国内では人手不足が一段と深刻化する中、米をはじめとする食料品価格の急騰といった継続的な物価高が、国民の消費行動や生活に大きな影響を及ぼしました。また、憲政史上初となる女性総理大臣が誕生し、「年収の壁」の引き上げが行われるなど、働き方や社会制度をめぐる変革が進んだ一年でもありました。

一方、国際情勢に目を向けると、米国トランプ新政権による「相互関税」政策が世界経済や国際貿易に深刻な影響を与えており、国内の輸出産業等にも波及しました。また、ウクライナ情勢の重大な転換や、中東におけるイスラエルとハマスの停戦合意の一方で、ホルムズ海峡の封鎖という重大な事態が発生し、年度末にかけてフランスやイタリアが再開に向けてイランとの交渉を準備するなど、エネルギー供給を脅かす緊張状態が続いています。こうした国際的な動向は、国内の経済安全保障や原材料費、エネルギー価格の変動を通じて、私たちの事業環境にも引き続き多大な影響を及ぼしています。

以上のような社会情勢の中、協力会は、改めて協力会会員、パルシステム会員生協、パルシステム連合会関係部署、パルシステム生産者・消費者協議会（以下、生消協）と連携、協力しながら、パルシステムグループの事業と運動に協力、支援を行い、ひいては協力会会員同士の事業活動にも寄与できる活動を行いました。

II．パルシステム連合会の2025年度事業状況

パルシステム連合会供給高は、1,873億32百万円で前年比103.4%、62億22百万円の増加となりました。本年の供給日数は前年より1日少ない256日です。予算に対しては101.9%、34億12百万円上回りました。事業剰余金は11億14百万円（予算は2億95百万円）、経常剰余金は13億52百万円で、前年に対して2億33百万円の増加となり、予算に対しては9億52百万円上回りました。

III．2025年度活動方針・活動報告

2025年度は7月通常総会、11月秋の講演会、1月賀詞交歓会とすべて集合で開催いたしました。

2026年3月現在、正会員237社、準会員82社、特別会員10会員、計329会員がパルシステム協力会（以下協力会）に登録いただいております（2025年3月正会員238社、準会員82社、特別会員10会員、計330会員）。

1. パルシステムの理念に基づく持続可能な社会づくりに貢献します。

(1)「もっといい明日へ 超えてく」アクションの推進をします。

(2)パルシステム協力会の拡大と活性化を図ります。

(3)関係団体との連携を強化します。

(4)理念に基づく運動を展開し、協力会ホームページから各部会の取り組みを発信します。

・「もっといい明日へ 超えてく」アクションの推進として、商品展示会では、3会場でリ・リパック(はがせるトレー)を使用しました。併せてそれぞれの商品をお互いに理解し、各会員ブースの試食提供品にアレンジするなど、新たな提案と会員間商品交流を行いました。

・「お米で超えてく」アクションとして、環境部会ではJA たじま、品質管理部会と物流部会ではJA 全農新潟精米工場の視察を行いました。

・9月9日(火)～10日(水)第36期第3回幹事会を沖縄で開催いたしました。恩納村では行政、漁業、農業、観光業、地元企業や、大学、食品メーカー、全国生活協同組合など多くの団体による、協創の取り組みが盛んに行な

- われており、そのロールモデルを学びました。また、OIST沖縄科学技術大学院大学施設の視察を行いました。
- 協力会ホームページでの各部会取り組みの発信につきましては、年度内の発信に至りませんでした。

2. パルシステム生産者・消費者協議会(生消協)との「共創」を推進します。

- (1)相互参加による協力体制を強化します。
- (2)共創の活動を推進します。
- (3)連携事務局会議を定期的に開催します。
 - 4月9日(水)～10日(木)長野県佐久市佐久平交流センターおよび県内各地にて開催しましたパルシステム生産者・消費者協議会関東・中部ブロック会議に、協力会より7団体10名が参加し、交流を深めました。
 - 6月11日(水)長野県内での共創に向け、株式会社水宗園本舗本部にてパルシステム生産者・消費者協議会山下幹事をむかえ打ち合わせを行いました。その後、3月24日(火)にパルシステム生産者・消費者協議会および産直産地関係者10団体16名、協力会関連者11団体19名の参加のもと、第1回信州生消協・協力会連携会議が行われました。
 - 7月9日(水)～10日(木)農事組合法人庄内協同ファーム受け入れのもと、「もっといい明日へ 超えてく 地域力が社会、そして未来をつくる」をテーマにパルシステム生産者・消費者協議会東北・北海道ブロック会議の開催がありました。協力会からは、5団体11名が参加しました。
 - 7月29日(火)～30日(水)株式会社ニューズ受け入れのもと、「持続可能な産地づくりと農業生産を担い手と共に超えてく」をテーマにパルシステム生産者・消費者協議会関西・以西ブロック会議の開催がありました。パルシステム協力会からは、9団代11名参加をしました。
 - 10月1日(水)パルシステム生産者・消費者協議会第14回青果フォーラムに協力会会員から会場2団体、オンライン5団体が参加しました。
 - 1月27日(火)～28日(水)福岡県で開催された「九州農商工消連携会議～ALL九州のちからで超えてく～」に協力会幹事4名が参加しました。

3. SDGs(持続可能な開発目標)を推進します。

- (1)資源循環を促進します。
- (2)環境に配慮した消費へのきりかえを推進します。
 - 6月28日(土)環境部会5名の参加者により、中野きのこ園(茨城県つくば市)および周辺圃場へ訪問し、里山再生活動(いきもの調査、ビオトープ)見学、じゃがいも収穫体験、クリーン活動を実施しました。
 - 11月1日(土)パルシステム東京主催組合員向け企画「いなぎめぐみの里山森林保全体験」に環境部会員2名が参加しました。
 - 2月24日(火)～25日(水)植物由来プラスチックの導入を実施している環境部会員のリスパック株式会社関西工場を環境部会員11名で視察いたしました。

4. 組合員との交流を促進します。

- (1)「パルシステム商品学習会」を充実させます。
- (2)「工場見学」プログラムを拡充します。
- (3)「センターまつり」を活性化します。
 - パルシシステム商品学習会は128団体(前年度128団体)、工場見学は51団体(前年度50団体)のエントリーとなりました。
 - 2025年度は学習会264件(前年度201件)、工場見学54件(前年度57件)を実施しました。
 - センターまつりは19会場(前年度22会場)に参加しました。

5. 各部会方針

- (1)商品展示・組合員交流部会
 - 1)多くのメーカーに商品展示会参加を推進します。
 - 2)環境に配慮した運営など積極的に関与します。
 - 3)フードバンクへも余剰品寄付を推進します。

- 9会員生協との共催にて商品展示会を開催いたしました。
- 98団体(昨年度93団体)のエントリーに対し、総ブース数は297(昨年度307)と出展が行いにくい状況となっており、商品展示・組合員交流部会ブースとは別に、先に出展が確定している会員ブースとのコラボを提案いたしました。1団体が出展に至りませんでした。
- 群馬、山梨 長野、静岡の3会場で、リ・リパック(はがせるトレー)を使用しました。
- 会員の協力のもと全ての会場で余剰品をフードバンクへ寄付いたしました。

(2)物流部会

- 1)物流「2024年問題」の振り返りと対策を共有します。
- 2)歳末物流強化月間ポスターを制作し啓発活動を行います。
- 3)物流効率化と環境負荷低減の両立に向けた取り組みを推進します。
 - 前年度2月開催講演会「物流業界の課題と企業の対策」の参加者アンケートをもとに振り返りを行いました。
 - 歳末物流強化月間ポスターの作成を行い、320会員、会員生協67センターに配布・掲示を促し、注意喚起を行いました(配布枚数2,084枚)。強化月間終了後アンケートでは93会員より回答をいただき、ポスター掲示は83.6%、昨年と比べ交通事故・労災事故件数が変わらなかった71%、減った27%、増えた2%の結果となりました。
 - 物流効率化と環境負荷低減化の両立に向け、パルシステム連合会物流部より冷凍新Zパックの統一化、冷蔵Cおよび冷凍のドーリー蓋廃止に向けた試験展開、倉庫作業省人化、改正物流効率化法等への取り組み状況等について共有を行いました。

(3)品質管理部会

- 1)パルシステム連合会品質保証部との連携を強化します。
- 2)品質管理学習会を定期的に開催します(年2回)。
- 3)品質管理強化月間ポスター

2025年度協力会主要活動報告

1. 第36回通常総会 開催日／2025年7月1日(火)

第1部：パルシステム協力会「第36回通常総会」

場 所：熱海後樂園ホテル2階 秀峰
会員総数：329会員
（内訳 正会員：237 準会員：82 特別会員：10）
代議員数：237会員
出席者数：167会員、委任状55会員
有効総出席者数222会員



（1）竹内副会長より第1号議案2024年度（第35期）活動報告承認の件、井上会計より第2号議案2024年度（第35期）決算報告ならびに監査報告されました。決算報告の後、宮監事より、2024年度決算報告、2024年度ふれあい保障制度収支報告、監査結果が適正であったと、監査報告書に基づいて報告がされました。
質疑応答後、第1号議案、第2号議案の一括採決がなされ、拍手をもって満場一致で承認されました。
（2）安田会長より、第3号議案2025年度（第36期）活動方針（案）承認の件を、第4号議案2025年度予算（案）承認の件を加藤会計より提案されました。
質疑応答後、第3号議案、第4号議案の一括採決がなされ、拍手をもって満場一致で承認されました。
（3）新蔵選挙委員より、第5号議案について推薦がなされ、拍手をもって満場一致で承認されました。

第2部：講演会

演 題：『“トランプ旋風”の行方を読み解く
～高関税が招く同盟の危機』
講 師：外交ジャーナリスト／作家／慶応義塾大学教授／
早稲田大学政経学部大学院客員教授／
「シェーイチ」コメンテーター 手嶋龍一氏



第3部：懇親会

場 所：熱海後樂園ホテル4階 四季殿
参加人数：418人（2025年396人）



2. 秋の講演会・懇親会 開催日／2025年11月4日(火)

第1部：講演会

場 所：品川プリンスホテルアネックスタワー5階
プリンスホール
参加人数：412人（2025年度387人）
講演会①
演 題：「パルシステムの価値創造と
持続可能な未来への挑戦」
講 演 者：パルシステム生活協同組合連合会
代表理事 専務理事 辻正一氏



講演会②
演 題：「協同組合について～2025国際協同年～」
講 演 者：一般社団法人日本協同組合連携機構 常務理事 伊藤治郎氏

第2部：懇親会

場 所：品川プリンスホテルアネックスタワー5階
プリンスホール
参加人数：414人（2025年度385人）



3. パルシステムグループ賀詞交歓会 開催日／2026年1月14日(水)

場 所：品川プリンスホテルアネックスタワー5階 プリンスホール
参加会員数：216社（2025年度220社）
参 加 人 数：510人（2025年度494人）
式 次 第

開催（司会）	吉藤友美 パルシステム生活協同組合連合会 理事 生活協同組合パルシステム東京 常任理事
主催者代表挨拶	渋澤温之 パルシステム生活協同組合連合会 理事長 パルシステム共済生活協同組合連合会 理事長
鏡開き 乾杯	小川保 パルシステム生産者・消費者協議会 代表幹事
懇親 閉会の辞	安田昌樹 パルシステム協力会 会長
閉会	



会議

幹事会	
年月日・場所・参加者	内容
2025年5月7日(水) 第36期・第1回幹事会 (東新宿本部 集合開催) 出席 / 安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、八木副会長(水宗園本舗)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社16社出席 連合会:野津常務ほか7名出席	・パルシステム連合会新体制について ・生消協との共創の取り組み報告について ・パルシステム協力会新役員体制(案)について ・第36回通常総会各議案について ・幹事会旅費規程について ・第36回パルシステム協力会通常総会開催概要、役割分担について
2025年7月1日(火) 第36期・第2回幹事会 (熱海後楽園ホテル 集合開催) 出席 / 安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、八木副会長(水宗園本舗)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社18社出席、幹事候補会社、総会議長候補、役員選挙委員候補、各1社出席 連合会:辻専務ほか7名出席	【再掲】協力会各部会連合会担当役職員一覧 ・新幹事候補ご紹介 ・第36回パルシステム協力会通常総会・講演会・懇親会(役割分担)について ・生消協との共創(長野県内連携打合せ報告) ・2025年度パルシステム協力会第3回幹事会地方開催について
2025年9月9日(火) 第36期・第3回幹事会(沖縄開催) (リザンシーパークホテル谷茶ベイ 集合開催) 出席 / 竹内副会長(井ゲタ竹内)、八木副会長(水宗園本舗)、三澤事務局長(共生食品)ほか幹事会社13社出席 連合会:辻専務ほか7名出席	・2025年11月4日開催 第36期パルシステム秋の講演会について ・商品展示会コラボブース出展補助費について ・生消協との共創(生消協各ブロック会議参加報告)他 ・2026年第37期パルシステム秋の講演会開催日程について ・第36回通常総会参加者アンケート
2025年11月4日(火) 第36期・第4回幹事会 (品川プリンスホテル 集合開催) 出席 / 安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、八木副会長(水宗園本舗)、三澤事務局長(共生食品)ほか幹事会社19社出席 連合会:辻専務ほか8名出席	・第36期パルシステム秋の講演会役割分担について ・生消協との共創(生消協各ブロック会議参加報告)他 ・2025年度商品展示会進捗状況について

年月日・場所・参加者	内容
2026年1月14日(水) 第36期・第5回幹事会 (品川プリンスホテル 集合開催) 出席 / 安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、八木副会長(水宗園本舗)、三澤事務局長(共生食品)ほか幹事会社19社出席 連合会:辻専務ほか8名出席	・第37期パルシステム通常総会講演会 演者について ・2026年度以降における交流・学習会等イベント関連費用のお支払いについて ・2025年8月品質管理強化のお願い【緊急事態宣言】について ・生消協との共創 ・2025年度商品展示会進捗状況 ・当会初代理事長 下山保氏 自叙伝『飢えと子どもドロボー団〜満州引き揚げからパルシステム連帯までの半生記』のご案内 ・3委員会合同学習会「“山と海、そして人をつなぐ”恩納村に学ぶ自然共生と持続可能な地域づくり」
2026年3月5日(木) 第36期・第6回幹事会 (東新宿本部 ハイブリッド開催) 出席 / 安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、八木副会長(水宗園本舗)、三澤事務局長(共生食品)ほか幹事会社19社出席 連合会:辻専務ほか8名出席	・第37期パルシステム通常総会 ・2026年度パルシステム連合会体制について ・2026年度第37期幹事会、各部会開催日程について ・生消協との共創

4. 慶弔・その他

- 慶弔 2025(令和7)年度
- 2025年9月 1日 協同組合 JASMEQ 設立20周年につき、祝電を送る。

2026年3月26日 第4～9期協力会会長 鶴田 司郎様
ご逝去につき弔電、献花を送る。

ふれあい保障制度【結婚祝い金】収支報告書

2025年度 パルシステム協力会
自 2025年 5月1日 至 2026年 4月30日

(単位:円)

項 目		当期予算額	当期実績額	予算増減額	予算対比	備考
収 入	掛 金	41,479,200	39,960,000	△ 1,519,200	96.3%	ふれあい保障制度 掛金 加入人数×3,600円
	(ふれあい保障制度)	39,405,240	37,962,000	△ 1,443,240	96.3%	ふれあい保障制度 掛金のうち95%
	(結 婚 祝 い 金)	2,073,960	1,998,000	△ 75,960	96.3%	ふれあい保障制度 掛金のうち5%
	合 計	41,479,200	39,960,000	△ 1,519,200	96.3%	
支 出	ふれあい保障制度保険料	39,405,240	37,962,000	△ 1,443,240	96.3%	
	結 婚 祝 い 金	1,998,000	1,335,000	△ 663,000	66.8%	
	振 込 手 数 料	14,630	13,640	△ 990	93.2%	振込手数料：13,640円
	合 計	41,417,870	39,310,640	△ 2,107,230	94.9%	
雑 収 入		4,461	24,998	20,537	560.4%	預金利息
当 期 剩 余 金		75,960	663,000	587,040	872.8%	結婚祝い金分
前 期 繰 越 金		5,618,456	5,694,416	75,960	101.4%	結婚祝い金分
次 期 繰 越 金		5,694,416	6,357,416	663,000	111.6%	結婚祝い金分

2026年5月28日

パルシステム協力会

会長 安田 昌樹 殿

監事 戸田 麻理



ふ れ あ い 保 障 制 度 監 査 報 告 書

私監事は会則第6条5項に基づき、2026年5月28日パルシステム生活協同組合連合会会議室にて、2025年5月1日～2026年4月30日までの年度ふれあい保障制度会計収支決算について、下記の通り厳正に監査を実施しましたので、ここに報告をいたします。

記

1. 監査日時 2026年5月28日（木）14時00分～15時00分
2. 監査場所 パルシステム生活協同組合連合会東新宿事務所 4階第9会議室
3. 監査立会人 パルシステム協力会 会計 井上 文喜
パルシステム協力会 会計 加藤 剛実
パルシステム協力会 監事 戸田 麻理
株式会社パルふれあいサービス 小山 泰永
パルシステム生活協同組合連合会 経理部 経理2課 日野 道子
パルシステム協力会事務局 多田 杉夫 渡邊 あかね 土肥 勝憲
4. 監査の範囲及び方法 共済口預金出納帳の提出を求め、監査を行いました。
5. 監査結果 ふれあい保障制度会計は適正に処理されていました。
6. 付記意見 結婚祝い金繰越金の推移については引き続き進捗を確認し幹事会にて適宜対策を講じる事を望みます。

以上

第3号議案

2026年度(第37期)活動方針(案)承認の件

《2026年度活動方針案》

パルシシステムの理念である「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」に基づく「もっといい明日へ超えてく」アクションに共鳴し、サステナブル消費の取り組みについて、協力会会員（取引先）、パルシシステム連合会、会員生協（組合員）、産地生産者と連携しながら活動を推進します。またこの理念は、平和な社会の上にのみ成り立つものであることを深く認識し、あらゆる暴力の行使に反対し、世界の恒久的平和を願い、その大切さを伝えます。

《方針骨子》

- 1.パルシシステムの理念に基づく持続可能な社会づくりに貢献します。
- 2.パルシシステム生産者・消費者協議会(生消協)との「共創」を推進します。
- 3.SDGs(持続可能な開発目標)を推進します。
- 4.組合員との交流を促進します。
- 5.各分会方針において活動の推進をおこないます。

①パルシシステムの理念に基づく持続可能な社会づくりに貢献します。

- (1)「もっといい明日へ 超えてく」アクションの推進をします。
- (2) パルシシステム協力会の拡大と活性化を図ります。
- (3) 関係団体との連携を強化します。
- (4) 理念に基づく運動を展開し、協力会ホームページから各分会の取り組みを発信します。

②パルシシステム生産者・消費者協議会(生消協)との「共創」を推進します。

- (1) 相互参加による協力体制を強化します。
- (2) 共創の活動を推進します。
- (3) 定期的に双方会議に参加をします。

③SDGs(持続可能な開発目標)を推進します。

- (1) 資源循環を促進します。
- (2) 環境に配慮した消費へのきりかえを推進します。

④組合員との交流を促進します。

- (1)「パルシシステム商品学習会」を充実させます。
- (2)「工場見学」プログラムを拡充します。
- (3)「センターまつり」を活性化します。

⑤各分会方針

- (1) 商品展示・組合員交流部会
 - 1) 商品展示会では、会員生協と共催となるため積極的に環境に配慮した運営を行います。
 - 2) 多くのメーカーに商品展示会参加を推進します。
 - 3) フードバンクへも余剰品寄付を推進します。
- (2) 物流部会
 - 1)「2024年問題」の法的理解をすすめ、コスト・人手不足への具体的対策策定のための学習会を開催します。

- 2) 歳末物流強化月間ポスターを制作し啓発活動を行います。
- 3) 物流効率化と環境負荷低減の両立に向けた取り組みを推進します。

(3) 品質管理部会

- 1) パルシシステム連合会品質保証部との連携を強化します。
- 2) 品質管理学習会を定期的で開催します（年2回）。
- 3) 品質管理強化月間ポスターを制作し、期間内の事故削減に努めます。

(4) 環境部会

- 1) 環境関連情報の収集と発信をします。
- 2) 生きものの命の源である「水」に焦点を当て、「水」と水を通じた「生きもの」に関わる学習会を開催します。
- 3) 環境に取り組み、資源循環型社会の実現に向けた取り組みを連合会、会員生協とともに進めます。

(5) 異業種交流部会

- 1) 異業種交流部会員双方の取り組みについて理解を深めます。
- 2) パルシシステム生産者・消費者協議会との連携を深めるため窓口機能を担います。
- 3) 配送現場を学ぶため、同乗研修を行います。

第4号議案

2026年(第37期)予算(案)承認の件

2026年度 パルシステム協力会
自 2026年 5月1日 至 2027年 4月30日 (単位:円)

勘定科目		2025年度実績	2026年度予算	予算増減額	備考
収入	年会費収入	37,337,000	37,650,000	313,000	正会員・準会員・特別会員
	補助金収入	281,000	281,000	0	協定会通常総会開催支援助成金
	その他会費収入	3,561,000	3,561,000	0	参加費追加徴収 総会・講演会・賀詞交歓会
	カタログ発送費収入	3,124,790	3,125,000	210	
	合計	44,303,790	44,617,000	313,210	
支出	委託費	3,960,000	3,960,000	0	事務局業務委託費
	通信費	3,741,897	3,760,000	18,103	
	(カタログ発送費)	3,294,021	3,300,000	5,979	紙カタログ発送費・カタログデータ転送費 ※計上方法変更
	(郵便料金)	0	0	0	
	(LAN及び分担費)	344,850	350,000	5,150	
	(その他通信費)	103,026	110,000	6,974	HPメンテナンス、更新作業サポート費用
	旅費交通費	0	0	0	事務局交通費
	会議費	889,848	900,000	10,152	幹事会、生消協連携会議
	調査研究費	48,000	50,000	2,000	
	消耗品費	64,207	65,000	793	
	渉外費	33,000	40,000	7,000	慶弔関係費・生花代
	事務所負担費	396,000	396,000	0	半期ごとの支払い
	会計委託費	198,000	198,000	0	半期ごとの支払い
	部会費	3,294,406	4,050,000	755,594	
	(商品展示・組合員交流部会費)	195,500	450,000	254,500	商品展示会実行委員会運営
	(物流部会費)	951,071	900,000	△ 51,071	研修会、セミナー、講演会、歳末強化月間ポスター
	(品質管理部会費)	1,294,874	900,000	△ 394,874	研修会、学習会(年2回)、品質管理強化月間ポスター HACCPリーダー養成講座補助
	(環境部会費)	577,947	900,000	322,053	研修会、講演会、海岸クリーンアップ活動
	(異業種交流部会費)	275,014	900,000	624,986	研修会、学習会、部会運営
	(諸口)	0	0	0	
	商品展示会費	8,006,781	7,500,000	△ 506,781	
	(会員生協補助)	600,000	800,000	200,000	
	(出展会員補助)	5,735,000	5,000,000	△ 735,000	
	(展示会保険)	49,054	50,000	946	
	(冊子作成費)	1,272,117	1,300,000	27,883	
	(備品作成費)	350,610	350,000	△ 610	のほり追加・協定会エプロンクリーニング費用
	(諸口)	0	0	0	倉庫保管料
	総会費	14,071,832	14,424,460	352,628	
	(会場費)	11,487,990	11,824,460	336,470	含む懇親会費
	(議案書作成費)	1,234,886	1,250,000	15,114	紙およびPDF制作
	(その他運営費)	1,348,956	1,35		

2.まとめ(2025年度活動報告)

【活動総括】

2025年度部会活動は、部会6回、研修会2回、学習会1回を開催しました。

研修会では、パルシステムの物流を改めて学ぶために、つくばみらいセットセンターの視察を行いました。新冷凍SCの視察を通じて、パルシステム連合会が取り組んでいる、省人化、省力化、環境問題への取り組みについて、理解を深めることができました。

また、産地研修会では、令和の米騒動を経て、産地の現状を確認するため、JA新潟かがやきささかみライスセンター様、(株) ささかみ様、JA新潟全農様、道の駅あがの様を訪問しました。産直産地の苦労や課題など厳しい現実を学ぶ一方で、パルシステムへの熱い想いを感じることが出来た、大変貴重な研修となりました。

学習会では(株) パルライン太田顧問を招き、パルシステムの物流についてご講義いただきました。パルシステム物流の歴史から、現在に至るまでの様々な改革に関して、ご講義いただき、学びの多い学習会となりました。年末には例年同様ではありますが、歳末物流強化月間の取り組みを実施し、物流事故ゼロ・納品事故ゼロをテーマに会員各社に呼びかけを実施しました。

【次年度に向けて】

中東情勢の悪化によるエネルギー調達問題や労働力不足は、物流業界のみならず社会的な問題となっており、物流業界を取り巻く環境はますます厳しくなっております。パルシステム連合会様と連携し、物流に困っている方々へ少しでもお役にたてるよう、議論を重ねて参る所存です。

最後となりますが、次年度においても、継続して生消協との連携やメーカー様の視察を通じて、商品の裏側にあるご苦労やこだわりの安心安全な商品を学び、組合員様の暮らしに貢献できるよう努めてまいります。

何卒、物流部会の活動へご協力の程、よろしくお願いいたします。

品質管理部会 活動報告

メンバー		
(役位・50音順、敬称略)		
部会員(部会長)	(株)ニッスイ	古賀 敬
部会員(副部会長)	(株)カジノヤ	梶 光則
	(株)ウィルミナ	幸村 潮菜
部会員(書記)	(有)菊水堂	土谷 淳
部会員	(株)ウィルミナ	坪谷 友理
	エム・シーシー食品(株)	前田 清彦
	(株)カジノヤ	長谷川 義孝
	共生食品(株)	旭 鉄志
	(株)協和	梅田 靖彦
	協同組合 JASMEQ	小野 章男
	シンコー食品(株)	宮下 富幸
	全農パールライス(株)	西野入 英幸／馬橋 和明
	(株)タケイ	石原 隆弘
	デイリーフーズ東京販売(株)	光丸 永援
	(株)テロワール・アンド・トラディション・ジャパン	二瓶 徹
	(株)東京コールドチェーン	末吉 太一
	(株)ニッキーフーズ	田中 紀年
	(株)ニッスイ	久保 洋
	(株)ニチレイフーズ	古川 奈実
	(株)にんべんフーズ	浅原 真
	(株)浜食	田中 浩一
	(株)パルブレッド	今西 二郎／矢島 規雄
	(株)パル・ミート	宮原 雅仁
	(株)ファーストフーズ	芳賀 隆次
	(株)ふくれん	久良木 正秋
	北海道漁業協同組合連合会	山野寺 健一／濱名 拓郎
	(株)ユニマットキャラバン	瀬沼 淳一／長谷川 礼太
	水野食品(株)	水野 茂
	三菱食品(株)	岩崎 洋介
オブザーバー	協同組合 JASMEQ	監物 今朝雄
	大洋香料(株)	長谷川 雅人
	(株)ニッスイ	朝長 洋治郎
	パルシステム連合会	川村 健一

会員名	種 別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城 栃木	山梨 長野	群馬	福島	静岡	新潟 ときめき	合計
株式会社ニッスイ	オンライン学習会					1						1
日東富士製粉株式会社	リアル学習会	2	2									4
株式会社日本アクセス	リアル学習会	1			1							2
株式会社にんべんフーズ	リアル学習会	3	1	1		1						6
榛名直販株式会社	リアル学習会	1										1
株式会社パル・ミート	オンライン学習会				1							1
	リアル学習会	8	3	1	4	2	1		1	1		21
	リアル工場見学	1			1							2
株式会社パル・ミート（山形工場）	オンライン工場見学			1								1
株式会社パルブレッド	オンライン学習会	1										1
	リアル学習会	10	4	3	3	2	1	1	1			25
	リアル工場見学	5	2									7
株式会社パルブレッド （株式会社コモ）	リアル学習会					1			1			2
ひかり味噌株式会社	リアル学習会	1	1						1			3
株式会社ピックルスコーポレーション	オンライン学習会			1								1
平田産業有限会社	オンライン学習会	1					2					3
	リアル学習会		1									1
	リアル工場見学		1									1
株式会社ふくれん	リアル学習会	1										1
北海道漁業協同組合連合会	リアル学習会	6										6
松岡水産株式会社	オンライン学習会						1					1
	リアル工場見学			1								1
松山油脂株式会社	リアル学習会	1										1
	リアル工場見学	1			1		1					3
株式会社丸藤	オンライン学習会	1										1
	リアル学習会	3		3								6
丸和油脂株式会社	リアル学習会				1							1
丸和油脂株式会社 那須工場	リアル工場見学					2						2
みえぎょれん販売株式会社	リアル学習会	4				1						5
三菱食品株式会社	リアル学習会	3	1									4
三菱食品株式会社 （井村屋株式会社）	リアル学習会	1		1								2
	オンライン学習会			1								1
三菱食品株式会社 （信越明星株式会社）	オンライン工場見学			1								1
三菱食品株式会社 （日清オイリオグループ株式会社）	オンライン学習会						1					

